

カリキュラム(ひな形)

機構施設名： 沖縄職業能力開発促進センター
実施機関名： 株式会社タナベコンサルティング

B.生涯キャリア形成	効果的なOJTを実施するための指導法
技能・ノウハウ継承	

コースのねらい	後輩従業員へのノウハウの継承を目指して、中堅・ベテラン従業員がもつ経験や技能をOJTを通じて後輩従業員に伝達するための知識と技能を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間(H)
	1	人材育成のプロセス	(1) モチベーションの維持と現状把握(講義) 仕事への考え方、進め方についての理解 部下のモチベーション維持の仕方を解説する (2) 職業能力の分析(講義) 職業能力の分析の仕方について解説し、 自部門の職業能力分析のワークショップを行う (3) 人材育成の方向性(講義) 人材育成についての教育制度について解説 人材育成の方向性と求める人材像の必要性について解説 他社から学ぶ人材育成(企業内大学校の取り組み)	2.0
	2	効果的なOJTの進め方とポイント	(1) OJT計画の作成(講義) 部下育成に必要な計画立案やその重要性について解説 (2) OJT指導者と教材(講義) 部下育成を行う指導者としての心構え、リーダーとして 必要な考え方や使用する教材などについて解説 (3) OJTの課題と問題点(ワーク) 自部門のOJTの課題と問題点、真因の洗い出し (4) 人材育成における評価の考え方(講義) 一般的な人事制度についての解説 リーダーに必要な評価方法について解説	2.0
	3	現場で活かせる実践的指導法	(1) 効果的な指導法(講義) 後輩従業員の動機付けとコーチングによる指導・面談 ストーリーの作成 (2) 指導時の注意点(ワーク) ①後輩従業員の課題と改善策の検討 ②面談ストーリーの作成 ③後輩従業員の面談ロールプレイング実施	2.0
合計時間				6.0

カリキュラム作成のポイント

- ・コンサルティングの現場で培ったノウハウをベースにカリキュラムを作成。座学で終わらせない実践的な講義とワークを実施する
- ・講義を通して自社のレベル感の概要を押さえ、取り組むべき内容を理解することで、より効果的なワーク内容とすることを想定している。